



サイクリストにやさしい奈良を目指し、 「奈良まほろばサイク∞リング」のマップ作成

奈良県は、県内の世界遺産や史跡を自転車で巡るルートを紹介した「奈良まほろばサイク∞リング」(略称：ならクル)のマップを作成、県道路・交通環境課等で無料配布している。

紹介ルートは、大和野平内の「幹線・補助幹線ルート」と山間高原地域の「高原ルート」に大別され、東大寺付近から橿原神宮までの古道に沿った「上ツ道ルート」や、宇陀から曽爾高原までの奇岩奇峰の山々が美しい「曽爾高原ルート」など31コース、延長約600kmにも及ぶ。

平成22年12月、県は「奈良県自転車利用促進計画」を策定。自転車を活用した滞在型観光の拡大による観光振興や地域活性化に取り組んでおり、今回のマップ作成はその一環。マップには、同計画による県の取り組みサービスも案内されている。

■「奈良県自転車利用促進計画」の主な取り組み

(1) 安全・快適でわかりやすい自転車ネットワークを構築する「ハード施策」

まちなか巡りから広域周遊にも対応するため、既存道路を活用。観光場までの距離を表示した「案内標識」や、自転車利用者やドライバーへの「注意喚起標識」などの整備を進めている。

また、長い距離を走ったサイクリストの憩いの場となるように、道の駅や農産物直売所、自転車専門店などの「休憩所」を案内。トイレや空気入れ等のサービスが利用できる。



古都奈良の歴史を巡るルートマップ

(2) 自転車を利用しやすい環境を創出する「ソフト施策」

自転車の利用レベルに応じ、自転車愛好家層(ハイユーザー)、周遊観光における自転車利用者層(ミドルユーザー)、一般観光客層(ローユーザー)の3段階に分類。

ハイユーザー向けには、県外から来られる方も想定し、乗り慣れたマイ自転車で観光を楽しみたいというニーズに応える。自宅から目的地まで搬送する宅配業者2社と連携しており、割引サービスも行う。さらに、自転車を安心して屋内に保管でき、自転車搬送サービスの取り次ぎ可能な宿を紹介。宿泊客以外でもシャワー・風呂の利用ができる宿もある。

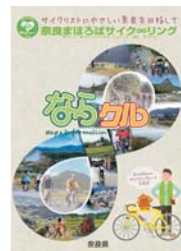
ミドル・ローユーザー向けには、「滞在時間延長」の視点から、レンタサイクル利用を呼び掛ける。毎年秋には、広域乗り捨て型レンタサイクルのキャンペーンが行われ、県内各地域に設けられたポートであればどこでも貸出・返却が可能だ。

また、レベルに応じた自転車愛好家おすすめするルートの紹介や、楽しく走るために必要なルール等の情報を提供し、自転車の利用促進を図る。

(3) 関係者が連携した継続的な取り組みを支える「推進体制」

山岳グランfond in 吉野、ヒルクライム大台ヶ原 since 2001、若草山ヒルクライム等、国・県・市町村、民間事業者、NPO、地域団体等が一体となって取り組んでいる参加型イベントを紹介。奈良でしか味わえない自転車の楽しみ方の情報を発信している。

手軽な交通手段として利用できる自転車は、健康や環境、また財布にも優しいとブームになっている。自家用車や鉄道を利用した観光とはまた違った“新たな発見”が期待できる自転車の、今後の利用動向が注目される。(岡本 忠)



■奈良県自転車利用総合案内サイト <http://nara-cycling.com/>
お問い合わせ先：奈良県土木部道路・交通環境課 TEL：0742-27-8103